

広報

Nakijin

なきじん

2003年8月
333号



今帰仁村

● 今帰仁村の人口 男4,806人(+10) 女4,760人(+9) 計9,566人(+19)
世帯数3,515(+2) 平成15年6月30日現在
ホームページアドレス <http://www.nakijin.jp>

市町村合併に関する村民アンケート調査報告書

村役場では「市町村合併に関する村民アンケート調査」を二月上旬から二月下旬にかけて無作為に抽出し、村民一千名に対して実施しました。このほど、アンケートの調査報告書がまとまりましたので、抜粋して掲載致します。ご協力頂きました村民の方々、ありがとうございました。

アンケート実施の概要

一 目的

市町村合併に対する村民の方々の考え方や意見を収集し、今後の本村の「市町村合併」について参考にするものとする。

二 アンケート方法

無記名方式

三 実施期間

平成十五年二月三日から

平成十五年二月二十八日まで

四 アンケート対象者

無作為に抽出した二十歳以上の村民一千名

五 アンケート回答者数

三〇六名

六 アンケート回収率

三〇・六%

Q1 あなたは市町村合併に関心がありますか。

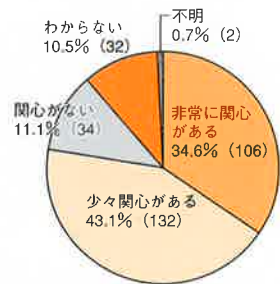
「非常に関心がある」「少々関心がある」を合わせると、七七・七%となり、約八割の方が市町村合併に対して関心を持っていることがわかる。

一方、「関心がない」が二・%、「わからない」が一〇・五%であった。年齢別に見ると、「非常に関心がある」「少々関心がある」と答えた年代が最も多いのが二〇代で九〇・九%、最少だったのが七〇代以上で六二・七%であった。また、「関心がない」「わからない」共に最多は七〇代以上であった。

男女別で見ると、「非常に関心がある」「少々関心がある」と答えたのは、男性が八三・三%、女性が五六・〇%で男性が二七・三ポイント上回った。「関心がない」「非常に関心がある」は男性が九・七%、女性が三・

八%で女性が三二・二ポイント上回った。また、「わからない」は男性六・九%女性三・二%で女性の方が五・二ポイント上回った。

なお、年齢別、男女別の率(%)は、各年齢別、男女別の率です。



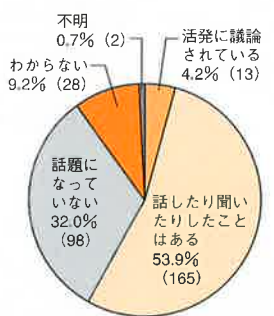
※ () 内は回答数

Q2 あなたの周りで市町村合併は話題になっていますか。

「活発に議論されている」「話したり聞いたりしたことはある」を合わせると、五八・二%となり、約半数以上の方は市町村合併の話題になんらかの形で触れていることがわかる。

一方「話題になっていない」が

三二・〇%あり、市町村合併に対する情報の周知が薄く、広報紙等とおして市町村合併に関する情報を提供する必要があると思われる。



※ () 内は回答数

Q3 今のままの今婦仁村の規模で、今後村民が要求するサービスを提供することができると思えますか。

「わからない」が三〇・一%で約三割の方が回答を保留した。これは、合併に関する情報不足により、判断ができず回答を保留したものと思われる。

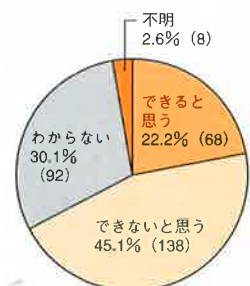
また、「できないと思う」が四五・一%あり、四割強の方は将来の今婦仁村に不安を感じていることがわかる。

「できないと思う」が最多であったのが、四〇代の五五・六%で、次いで五〇代の五二・二%。六〇代の四八・六%、二〇代の四五・五%、七〇代以上の三七・三%、

三〇代の三四・二%の順であった。

Q4 市町村合併について国や県の支援策があるのを知っていますか。

「知っている」が六二・八%、「知らない」が三五・九%で「知っている」が「知らない」を二六・九ポイント上回った。「知っている」と答えた方でも自由意見に記載されているように、支援策がどういう内容のものなのか、どういうメリットがあるのか詳細までは周知されていないように感じる。今後、市町村合併に関する情報の提供等早急に対応しなければならぬと思われる。



※ () 内は回答数

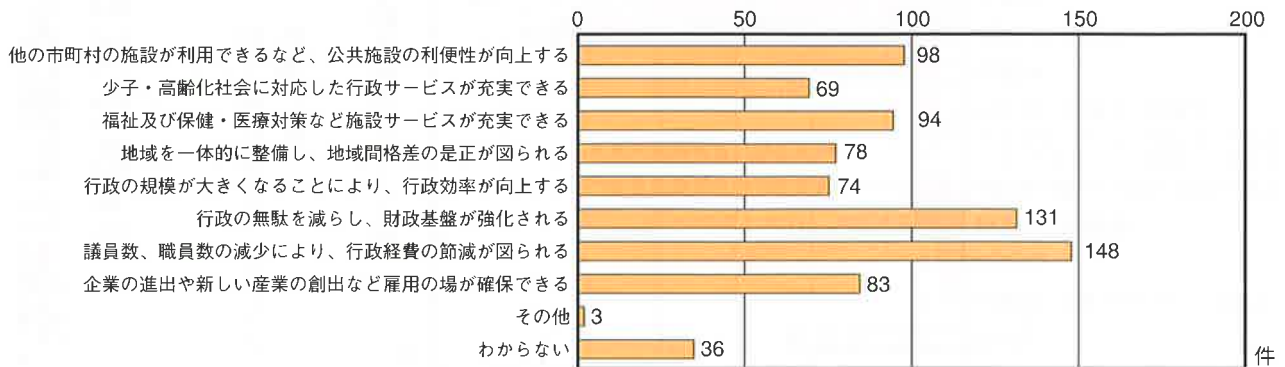
※ () 内は回答数

Q5

市町村合併をすると良く
なると思われることは何
ですか。
(三つまでお答え下さい)

「わからない」を除くと、議員数、職員数の減少により、行政経費の節減が図られる」が最多で一四八件、次いで「行政の無駄を減らし、財政基盤が強化される」一三一件であった。多くの村民の方は、人員削減、行政経費の節減等、行政のスリム化が図られることを期待している。

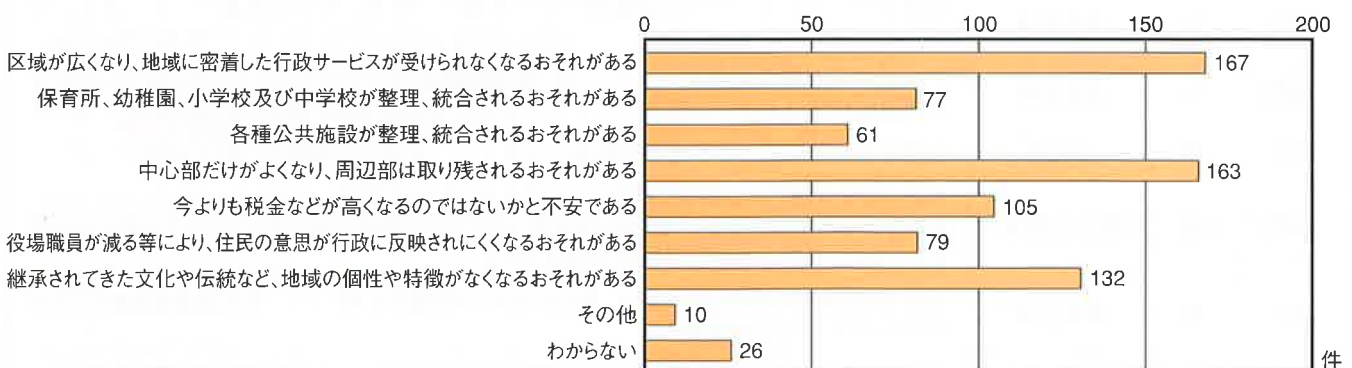
「他の市町村の施設が利用できるなど、公共施設の利便性が向上する」九八件と「福祉及び保健・医療対策など施設サービスが充実できる」九四件がほぼ同数であり、「少子・高齢化社会に対応した行政サービスが充実できる」六九件、「地域を一体的に整備し、地域間格差の是正が図られる」七八件、「行政の規模が大きくなることにより、行政効率向上する」七四件、「行政の無駄を減らし、財政基盤が強化される」一三一件、議員数、職員数の減少により、行政経費の節減が図られる」一四八件、企業の進出や新しい産業の創出など雇用の場が確保できる」八三件もほぼ同数であった。



Q6

市町村合併をすると悪く
なると思われることは何
ですか。
(三つまでお答え下さい)

「わからない」を除くと、「区域がひろくなり、地域に密着した行政サービスが受けられなくなるおそれがある」が最多で一六七件、次いで「中心部だけがよくなり、周辺部は取り残されるおそれがある」一六三件であった。多くの村民の方は、市町村合併によって、新たな地域格差の発生、役場や公共施設利用上の不便性への懸念が合併上のさまざまな点で懸念が合併上の「継承されてきた文化や伝統など、地域の個性や特徴がなくなるおそれがある」一三二件、「今よりも税金などが高くなるのではないかと不安もある」一〇五件、も共に高い割合を示している。



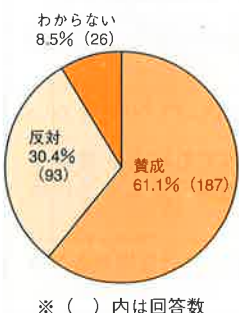
Q7

あなたは市町村合併について、
賛成ですか、反対ですか。

「賛成」六一・一%が「反対」三〇・四%を三〇・七ポイント上回り、村民の約半数強の方が合併に賛成と回答した。

また、「わからない」と回答を留保している方が八・五%である。この中には、合併の良い点、悪い点がわからない(Q5・Q6)と回答した方同様、合併に関する情報不足や合併することによって村民の生活がどのように変わるのかイメージしにくいといった点、また、合併そのものを考えたことがない方が多数いると思われる。

「反対」と回答した方を年齢別で見ると、二〇代が最多で三九・四%、次いで四〇代三二・七%、七〇代以上二九・九%、三〇代二九・五%、六〇代二九・二%、五〇代二五・六%の順であった。次頁以降に「反対」意見を抜粋して掲載しています。



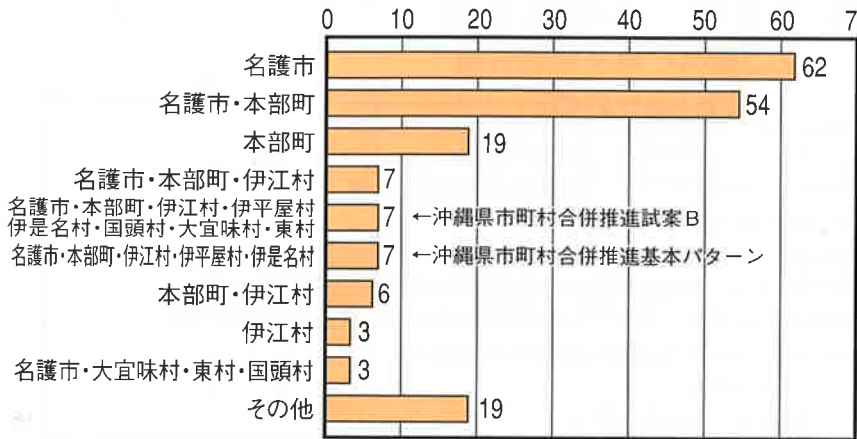
賛成の場合 どこの市町村と合併した方が、 今帰仁村のためになると 思いますか

パターン別に見ると、「今帰仁村・名護市」六二件（三・二％）が最多で、

次いで「今帰仁村・名護市・本部町」五四件（一八・九％）、「今帰仁村・本部町」一九件（二〇・二％）、「今帰仁村・名護市・本部町・伊江村」七件（三・七％）の順であった。

また、沖縄県市町村合併推進の基本パターンである「今帰仁村・名護市・本部町・伊江村・伊平屋村・伊是名村」は七件で三・七％、試案Bである「今帰仁村・名護市・本部町・伊江村・伊平屋村・伊是名村・国頭村・大宜味村・東村」も七件で三・七％であった。村民は県の推進する広域

市町村合併パターン別 件



【自由意見】

年齢層	性別	職業	意見
20代	男	会社員	どちらとも言えないが、今のままでは何の進展もない。合併すると、地域の特性がすべて失われる可能性がある。
20代	女	無職	財政難は他の市町村と合併しても改善されるものではない。その地域の個性が失われるだけ。
20代	女	アルバイト	自分が生まれ育った今帰仁村がなくなってほしくない。今帰仁村という名前が好きだし、20年以上住んでいるから他の市町村と絶対合併してほしくない。
20代	男	アルバイト	豊見城が村から市にかわったり、宮古や八重山でも合併の話は出てきたりしていいことだと思うし、今帰仁村も合併することによって少しは活気づくのではないかな。
20代	女	家事専業	合併することによって村立図書館や子ども連れで気楽に行ける児童センターみたいなのでできるといいなあ。
20代	女	家事専業	アンケートが配られるということは、実際問題なのではないでしょうか。国や県からの財政支援が平成17年3月までに限るということは、あまりにも急な話なので実際びっくりした。
20代	男	会社員	合併することによって税金の無駄遣いをなくし、村議や役場職員の数を削減してほしい。
30代	女	商工自営業	私はふる里今帰仁村が好きで現在ここに住んでいますが、合併して得るものもあるとおもうけど、実際失うものの方が多いのではないかと思います。この規模の中で困っている人たちに目が届かないのに、規模を大きくして届くとは思えません。
30代	女	家事専業	合併すると地域の特色がなくなる。それよりも村の特徴を大事にして、住民意識を高めることが活気ある村づくりになると思う。
30代	女	美容師	合併して今帰仁村の名前や伝統・文化をなくしてはいけない。この村で生まれ、育ったすばらしい思い出があるので、若い人、老人が住みやすい村づくりのために今帰仁村として頑張してほしい。
30代	女	会社員	早期に合併して過疎を防止しないと、いままでの今帰仁村は完全に人口が流出する。
30代	男	家事専業	財政も使い方しだいでと思うので、多ければいいと言う問題ではないと思う。国に踊らされているようで絶対に反対である。
30代	男	会社員	市町村合併は行政側も十分村内の各種団体等の意見も取り入れて検討していただきたい。
30代	女	会社員	村長自身はどう思っているのでしょうか。私たちが反対意見を述べても村長が賛成なら合併すると思う。賛成、反対いずれにせよ村長の姿勢を村民に納得できるように示してほしい。
40代	女	アルバイト	今帰仁村が他の市町村と合併してもメリットはないと思います。勉強不足で十分な理解ができません。もっといろいろな情報がほしいです。

【自由意見】

年齢層	性別	職業	意見
40代	女	公務員	合併してしまうとこれからの子ども達の職場がなくなってしまう。現在は行政でまかなっている部分があるからこそ何とかやっていたらと思う。
40代	男	農林水産業	素朴な今帰仁村が好きだから合併しないですまされるものならしないでほしい。
40代	女	公務員	辛くても、苦しくても今帰仁村のままであってほしいです。これから全村民が財政について真剣に考えていくべき時代になったような気がします。
40代	男	農林水産業	合併した方がよいのか、どうか、よくわかりません。
40代	女	公務員	賛成か、反対か今のところわかりません。合併があるとしたら、それはそれで村民全体が同じ意見であれば、それに賛成します。
40代	男	会社員	伊江村のように住民投票を実施しても良いと思う。財政支援も大切だが、住民の十分なコンセンサスを得た上で、国の言いなりにならないよう17年3月に間に合わなくてもいいと思う。逆に各市町村は期限をつけないよう、国に強く要求すべきだと思う。
50代	男	公務員	合併することは憲法92条、93条の自治権の放棄。合併特例法による交付税の10年間保障は一時的なアメである。いずれにせよ合併しても長期的には解決しない。
50代	女	農林水産業	都市部とその他の地域の行政サービスなどに差が出てくると思います。役場職員も知らない人が多くなり、住民の意志が聞こえなくなる。
50代	女	家事専業	大きいことはいい面もあるでしょうけど、小さい所にもいい面はたくさんあります。トカゲの尻尾切りにならないければいいのですが、少し心配です。
50代	女	アルバイト	今帰仁村の場合議員の数が多すぎると思います。現在の半分で十分だと思う。
50代	男	商工自営業	市町村合併を積極的に進めて下さい。合併をすると良くなる点、悪くなる点を村民にわかりやすく説明していただきたい。名護市、本部町との合併を希望します。
50代	男	商工自営業	議論がまだ全然なされていないのに財政支援があるから合併というのは、おかしい。
60代	女	農林水産業	基地のない自然豊かな今帰仁村が大好きです。合併には反対です。
60代	男	家事専業	住民自らわき上がった合併ではなく、財政危機が深刻になった政府がアメとムチで押しつけてきた合併だから間切りの時代を入れれば300年余りの村を存続させないでは、先祖に対して申し訳が立たない。
60代	男	農林水産業	行財政上の運営及び、その他の施設の運営が村独自でできるならばそれにこしたことはないが、もしそれができなければ、一刻も早く市町村合併について議論して道を開くべきである。
60代	男	無職	意見や考えをまとめるだけの資料が乏しく、現在日々の新聞から考えるにとどまっている。合併の可否に関係なく、役場は持っている情報を村民に提供すべきである。
60代	女	家事専業	各字で小委員をつくり話し合いがなされ、小委員会の代表が村全体の審議委員会を組織してじっくり話し合うことが大切だと考える。早急に結論を出してはいい結果は生み出せないと思う。
60代	男	家事専業	先行して合併した自治体では、財政支援策の特例債による借金増で財政の硬直化を招いている。交付税も先細りになるのは国の借金をみれば明白。政府のアメも底が割れている。ここは合併の可否にかかわらず、腰を据えて行政運営をしなければならない。
70代	男	無職	合併すれば地域が一体的に整備されて地域の格差はある程度是正されるだろうが、区域が広く中心部だけがよくなり、周辺地域は取り残されるのではないかと心配である。
70代	男	農林水産業	これまで今帰仁村に対して何の不満もなく、大きな問題もなかったため、合併には反対である。
70代	女	団体職員	新聞で見る限りにおいて、合併についての不安要素があるので、慎重に事を進める必要がある。
70代	男	会社員	住民のためになるよう行政及び議会等において十分議論をしていただきたいと考えます。
70代	男	無職	合併した場合のメリット、デメリットはどうか、村長の考えを聞くことが大切だと思う。
70代	男	農林水産業	現状のままで十分楽しい。

ウミコチユが豊漁を祈願

海神祭



▲仲里吉徳村長のハーリー鐘の合図で御神パーリーが行われた

力強いかいさばきを披露し会場を盛り上げた。

なお、チビッコ角力大会、

ハーリー競漕の優勝チームは

次のとおり。

●チビッコ角力

古宇利小

●ハーリー競漕

【チビッコ】天底キッズ

【中学女子】今中卓球部

【中学男子】今中サッカー部

三年

【一般女子】友遊会

【一般男子】カイコン

一年間の豊漁と、海の安全を願う恒例の第五十一回海神祭（主催・今帰仁漁協）が七月十三日、運天漁港内で盛大に開かれた。

仲里吉徳村長のハーリー鐘に続き組合員による御神パーリーが勇壮に行われた後、いまじん太鼓のアトラクションやチビッコ角力大会などの催しもあり、観客から大きな声援が送られた。

ハーリー競漕には、今帰仁中学校から十二チームが参加。威勢よく掛け声をかけながら



▲中学生が力強いかいさばきを披露した

新体制でスタート

村文化協会総会

総会が六月三十日、村コミュニティセンターで開かれた。

総会では昨年度の活動報告や本年度の予算承認、任期満了に伴う役員の改選が行なわれ、謝花弘さん（渡喜仁二六七）が新しい会長に、前会長の黒島直太さんが顧問に就任した。

新会長の謝花さんは「本村のさまざまな芸術文化を会員と共にさらに継承発展できるように頑張りたい」と抱負を述べた。



▲抱負を述べる新会長の謝花弘さんと役員の皆さん

「あいさつ」による村・学校づくりを 区長会と今帰仁中PTAが交流会



▲「あいさつ」による村・学校づくりを提案する外間宏正さん

七月十一日、村区長会（会長・与儀常次）と今帰仁中PTA（会長・我那覇康）の親睦交流会が湧川区公民館で開かれた。

この交流会は、村内中学校が統合され一校となった今帰仁中学校を、地域みんなで盛り上げようと区長会が呼びかけ実現したもの。各字区長、今帰仁中職員、父兄のほか仲里吉徳村長らも参加。約六十人が学校、家庭などについて語り合った。参加した今帰仁中PTA総務部長の外間宏正さんが「学校生活や地域社会には潤滑油となるあいさつが大切」と話し、「あいさつ」による村・学校づくりを提案。参加者全員が賛同した。

天底ブラックスが優勝 北山キングが準優勝

学童軟式野球北部ブロック大会



▲天底ブラックス

第八十六回県学童軟式野球大会北部ブロック大会が六月二十一日から二十三日までの三日間、本部小学校グラウンドを主会場に北部地域から十六チームが参加して開催された。

今大会から辺土名ブロックと北ブロックが統合。初の北部ブロック大会となった決勝戦は、天底ブラックス対北山キングの村勢対決となった。試合は天底ブラックスが七対〇の大差で北山キングをやぶり優勝を飾った。

なお、決勝戦に進出した両チームは、七月十九日から東風平町野球場などで開かれた県大会に出場。北山キングは一回戦、天底ブラックスは、二回戦で惜敗した。

兼次小女子ミニバスケ 九州大会への「夢」つかむ



六月二十八、二十九日名護市で行われた第五十五回国頭地区交歓ミニバスケットボール大会で兼次小女子A・Bチームが念願のダブル優勝を達成し学校や父母、地域に大きな感動を与えた。

女子Aチームは八月十五日

から大分県で開催される第二十三回九州ブロックスポーツ

少年団ミニバスケットボール交流大会への派遣が決まり、小さな学校でも「夢」を持つて一生懸命頑張れば出来る大きな自信を得、決意も新たに日々練習に励んでいる。

与那嶺誠監督(今泊四五)

一)は「バスケットボールを

通して何事に対しても前向きで明るく最後までやり通すこ



▲兼次小バスケットボール部

とを基本にしているのが九州大会でも貴重な体験をしてほしい」と話していた。

今泊が記念大会を制する!



第20回 壮年ソフトボール大会

ソフトボールを通して中高年者の健康増進と地域の親睦を図ろうと村運動公園サブグラウンドを主会場に第二十回村壮年ソフトボール大会(同協会主催)が六月二十二、二十四の両日開催された。

記念となる二十回大会を迎え、趣向を変えて行われた今大会には、十七チームが参加大会初日四ブロック(予選リーグ)に分かれ熱戦を繰り広げた後、二百人が参加して中央公民館中庭で行われた懇親会では、壮年ソフトボール協会の設立、発展に尽くされた

仲里吉徳村長に同協会が感謝状を贈呈。ソフトボール談話を交わしながら楽しく交流を深めた。

決勝戦は今泊チーム(仲宗根武一監督)と天底チーム(大城清政監督)の対戦となり、序盤から得点を重ねた今泊が、必死に反撃する天底を振り切って四対〇の完封で記念大会を制した。

各賞は次のとおりです。

- 殊勲賞 新城 満(今泊)
- 敢闘賞 与那 勇(天底)
- 打撃賞

- 一位 仲本 満(今泊)
- 二位 新城 満(今泊)
- 三位 田港朝津(天底)



▲優勝旗を手にする今泊チーム

今帰仁村の農家が

上位を独占!

第一回やんばる美ら島 マンゴーコンテスト

マンゴー農家の生産意欲の高揚と消費の拡大を図ることを目的に、第一回やんばる美ら島マンゴーコンテスト



▲最優秀賞を受賞した玉城さん夫婦

ト(主催・北部地区産業研究会他)が七月十五日、JAおきなわ羽地支店で開かれた。

北部九市町村から五個詰め四十一点が出品され色や形、糖度、園地などを厳正に審査した結果、本村生産農家が上位を独占。栽培技術の高さを示した。村生産農家の受賞者は次のとおり。

【最優秀賞】

玉城初男 (今泊六五)

【優秀賞】

宮城康吉 (天底八八七)

上原勝二 (今泊一二三)

【特別賞】

比嘉峯夫 (今泊二〇四九二)

大城幸治 (今泊三〇〇二)

男子古宇利小 女子北山高が優勝

村PTAバレーボール大会

村内PTA会員相互の交流を図るとともに、健康増進を目的に、第二十八回村PTAバレーボール大会(主催・村PTA連絡協議会)が七月六日、村民体育館で開かれた。

今大会は、村内中学校が統合されたため今帰仁中PTAが男女それぞれ二チーム出場。各校区の代表メンバーらしく、スピード感あふれる白熱したゲームを繰り広げた。

男子の決勝戦は連覇をねらう北山高と古宇利小が対戦。三セットともジュースにもつ

れ込む大接戦の末、古宇利小が勝利を納めた。女子の部は北山高が他のチームをよせつけず、すべての試合をストレートで下し優勝を飾った。



▲古宇利小PTA

「アンテロープ」の選手、関係者が優勝報告

玉城里菜さん(兼次小六年)が大活躍

七月三日、県内陸上競技大会などで活躍している「アンテロープ」の選手や関係者が、六月二十八日、県総合運動公園で開催された小学生陸上競技県大会、女子四百メートルリレーの優勝報告のため仲里吉徳村長を訪れた。

二位以下を大きく引き離して優勝した「アンテロープ」には兼次小学校六年生の玉城里菜さん(諸志三八六)も参加。アンカーとして優勝に大きく貢献した。



▲村長を訪れた関係者たち

八月下旬、国立競技場で開催される全国大会に出場が決まり、玉城さんは週一回の合同練習を含めハードなトレーニングを続けている。

平成15年8月25日から住民基本台帳ネットワークシステムが2次稼働します。

- 全国どこの市区町村でも自分の住民票の写しがとれるようになります。(住民基本台帳カード、運転免許証等の提示が必要)
- 引越の手続で窓口に行くのは転入時1回だけですみます。(転出届を郵送で行い、転入時に住民基本台帳カードの提示が必要)
- 希望者に住民基本台帳カードを交付します。
※本人確認情報の提供又は利用や他の市区町村での住民票の写しの交付、転入転出手続きの簡素化のさいに活用
※公的な本人確認カードとして活用

●問い合わせ先●
村役場住民課
戸籍住民係
電話 56-2102

福祉課からの 児童扶養手当 お知らせ 特別児童扶養手当

の現況届けはお早めに!!

現況届は、毎年1回すべての受給者が出す届です。
受給者の方は、8月20日(水)から21日(木)(午前9時～午後5時)までに村役場福祉課に提出して下さい。
もし、この届を出さないと、受給資格があっても、引き続き8月以降の手当の支払いを受けることができませんので、必ず提出して下さいようお知らせします。



児童扶養手当って何?

一人ひとりの児童が心身ともにすこやかに成長して欲しい、これは、国民すべての願いです。

児童扶養手当制度は、離婚や死亡などによって父のいない(父のいない状態の)児童が充実した家庭生活を送れるよう、その家庭の安定と自立の促進を図るための制度です。

《受給資格》

18歳未満で、次のいずれかにあてはまる児童の母、もしくは、母がいないか監護しない場合は、その児童を養育する方に対して児童扶養手当が支給されます。

- 父母が離婚後、父と別れて生活している児童
- 父が死亡した児童
- 父が重度の障害の状態にある児童
- 父の生死があきらかでない児童
- 父がひきつづき1年以上遺棄(家庭をほうり出して面どうをみなくなった状態)している児童
- 父が法令により1年以上拘禁されている児童
- 母が婚姻によらないで出生した児童

特別児童扶養手当って何?

重い障害や病気を持つ児童を家庭で養育している父母、あるいは、父母にかわってその児童を養育している方に、児童の福祉の増進を図ることを目的として支給されます。

《受給資格》

精神又は身体に、中度以上の障害のある20歳未満の児童が対象となり、次のいずれかにあてはまる児童の父母、もしくは養育している方に支給されます。

=対象児童=

- ・ 政令で定めた障害の状態にあること
- ・ 日本国内に住所を有すること
- ・ 障害を支給事由とする年金を受けていないこと
- ・ 児童福祉施設に入所措置されていないこと

=受給資格者=

- ・ 障害や病気をもつ児童を監護している父若しくは母
- ・ 障害や病気をもつ児童を養育している方
- ・ 日本国内に住所がある方

詳しくは、村役場・福祉課 ☎56-4189まで

今帰仁村文化協会 会員募集中!

今帰仁村の文化に関すること、興味のある方、ひとりでも多くの方々の加入を待っています。詳しくは下記の加入したい文化協会専門部会か、文化協会事務局(今帰仁村教育委員会 社会教育課 担当:内間 ☎56-2645)までお問い合わせ下さい。

今帰仁村文化協会専門部会 役員名簿

部 会 名	氏 名	住 所	電話番号
琉球古典音楽部会	玉 城 三 夫	今泊3147	56-2561
琉球民謡部会	玉 城 幸 勝	崎山2-1	56-5833
琉球古典舞踊部会	金 城 禮 子	与那嶺455	56-3039
伝統芸能保存部会	松本利夫(謝名区長)	謝名100(公民館)	56-4927
太鼓部会	上 原 稻 子	乾流段の会 長浜悦子研究所	56-5425
民踊部会	謝 花 勝 子	渡喜仁267	56-2716
日本舞踊部会	照 屋 昇	渡喜仁1842	56-4408
大正琴部会	与那嶺 清 子	仲尾次334	56-2351
合唱部会	島 袋 子工子	仲宗根134-1	56-2915
絵画部会	運 天 肇	運天1242	56-5030
書道部会	謝 花 弘	渡喜仁267	56-2716
華道部会	玉 城 明 美	今泊950	56-2362
工芸部会	米 須 清 敬	謝名1032	56-2832
沖縄空手・古武道部会	宮 里 文 博	上運天147	56-2595

保
健
師
だ
よ
り

フレッシュママ教室のご案内

仲間と一緒に心も体もリフレッシュしてみませんか？

こんなあなたの為の教室です！

- ・育児や家事に追われ、忙しい
毎日を送っていて、自分の時間がない。
- ・自分自身を見つめ直してみたい。
- ・忙しい毎日でもリラックスする時間が欲しい。などなど…。

心のエクササイズをあなたも一緒に楽しもう！

1. 日 程

	日 程	時 間
1	9月1日(月)	午後1:15~4:00
2	9月9日(火)	午後1:15~4:00
3	9月16日(火)	午後1:15~4:00
4	9月22日(月)	午後1:15~4:00
5	10月1日(水)	午後1:15~4:00

2. 場 所：今帰仁村保健センター

3. 参加費：500円(おやつ、教材費として)

4. 対象者：0~3歳児までの子をもつ母親
(定員16名)

5. 申し込み締め切り：8月25日(月)

*託児室完備しています。
お子様とお気軽にご参加ください。

お問い合わせ：今帰仁村保健センター 電話：56-1234(花城)

第123期

沖縄産業開発青年隊募集

青年隊は全寮制のもと主に技能訓練(建設機械等の実習・農場実習)、勤労教育(農業・畜産実習)を行っています。

1. 募集人員 80名
2. 入隊期間 平成15年7月1日~平成15年9月5日
3. 入隊費用 339,000円(入隊費・食費・共同購入費)

※募集に関するお問い合わせは

☎(0980)43-2118まで

看護師・補助員募集

村では、国保の助成による健康づくり事業を実施していますが、事業に協力できる看護師・補助員を募集しています。健康づくりに興味がある方はどなたでも構いません。一緒に活動してみませんか？

職 種：看護師・補助員

内 容：訪問指導、健康相談 その他

- ・週3日程度
- ・時間、曜日については相談のうえ決定

○問い合わせ先：今帰仁村保健センター
電話(56-1234)

平成15年度 雇用支援制度活用相談会

●北部地区●

平成15年8月27日(水)

14:00~16:30

北部合同庁舎 2階大会議室

●主 催●

沖縄県、沖縄労働局、沖縄総合事務局

『青い羽根』募金を知ってますか？

この募金の趣旨は海洋レジャーを楽しんでいる方が事故に遭った場合、または荒天で船が遭難した場合などの人命救助のために、救助活動に必要な技能の訓練事業に、そしてこれらの事故を未然に防ぐ事故防止事業の資金として活用するものです。

★募金の期間…平成15年7月1日~8月31日

【募金の振込先】

口座番号 1526329
沖縄銀行高橋支店
加入者 社団法人
琉球水難救助会

【お問い合わせ先】

(社)琉球水難救助会
那覇市泊3-1-6
泊港北岸3F
TEL 098-868-5940

8月/葉月

1 金	○資源管理密猟巡回開始 ○住民検診 (平敷・崎山)
2 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○なきじん乙羽まつり
3 日	○第59回村球格技大会 ○なきじん乙羽まつり
4 月	○健康相談 (8:30~11:30) ○住民検診 (仲宗根)
5 火	○区長会 ○住民検診 (今泊) ○ゆいまーる (与那嶺)
6 水	○リハビリ ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○住民検診 (仲尾次・与那嶺)
7 木	○住民検診 (兼次・諸志)
8 金	○住民検診 (古宇利)
9 土	○乳児健診 (13:20~) ○ムラ・シマ講座 ○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○漁協朝市 (8:00~)
10 日	○健康相談 (8:30~11:30)
11 月	
12 火	
13 水	○リハビリ ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○ゆいまーる (呉我山)
14 木	○1才6ヶ月・3才児健診 (13:00~) ○広域学習サービス講座 (15:00~18:00 保健センター)
15 金	○タイワンガサミ放流 ○風疹 (特措等) (12:30~)
16 土	○牛セリ市 (10:30~) ○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○少年野球教室 (サブグラウンド)
17 日	○第9回国頭郡ラグビー、フットボール大会 ○健康ウォーキングの集い (7:00~9:00 村運動公園) ○村婦人ソフトバレー大会
18 月	○健康相談 (8:30~11:30) ○ゆいまーる (仲尾次)
19 火	○ゆいまーる (運天)
20 水	○区長会 ○リハビリ ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン)

21 木	○ゆいまーる (今泊)
22 金	○操体法教室 (10:00~) ○ゆいまーる (渡喜仁)
23 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
24 日	○住民検診 (保健センター) ○漁協朝市 (8:00~)
25 月	○健康相談 (8:30~11:30)
26 火	
27 水	○リハビリ ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン)
28 木	○デイケア
29 金	○ピアママ教室 (13:30~) ○広域学習サービス講座 (14:00~17:00 保健センター)
30 土	○第40回国頭郡バスケットボール大会 ○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○風疹 (もれ 13:00~) ○高齢者学級
31 日	○今帰仁郷友会グランドゴルフ大会 ○第40回国頭郡球格技大会

9月/長月

1 月	○健康相談 (8:30~11:30)
2 火	○ゆいまーる (与那嶺) ○リハビリ
3 水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○村畜産共進会 (10:00~)
4 木	
5 金	○区長会 ○操体法教室 (10:00~)
6 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○親子野球大会 (村営グラウンド)
7 日	

表紙

中央公民館のブーゲンビリアとやしの木を真下から広角レンズ(二四ミリ)で撮りました。広角レンズの特徴は、遠近感を表現できることです。ブーゲンビリアは以前イカダカズラと呼ばれていました。いくつも重なった枝の様子が筏に似ているからでしょうか？

村社会福祉協議会へ

ご寄付

- 嘉手納キクさん(今泊四五〇七)より 夫、典一様の香典返しとして十万円
 - 安谷屋清次さん(勢理密四七六)より 母、静子様の香典返しとして五万円
 - 額井政兼さん(呉我山五七八八)より 妻、文子様の香典返しとして五万円
 - 玉城留美子さん(諸志四四三)より 夫、吉信様の香典返しとして十万円
 - 山城金長さん(玉城一七)より 妻、レイ子様の香典返しとして十万円
- 「芳志ありがと」ございました。

第15回 「ツール・ド・おきなわ2003」 参加者募集

開催期日:平成15年11月8日(土)・9日(日)

開催場所:北部12市町村

募集期間:平成15年8月1日(金)~9月30日(火)

特定非営利活動法人ツール・ド・おきなわ協会

住所 沖縄県名護市港2-1-1(名護市民会館2階)

TEL 0980-54-3174

FAX 0980-54-3169

URL <http://www.tour-de-okinawa.jp>

e-mail info@tour-de-okinawa.jp

担当 斎藤

若者の素直な歌声とサウンドを楽しむ

「そら」コンサート

爽やかな歌声を聞きながら真夏の夜を楽しく過ごそうと村青年会(比嘉均会長)が主催して「そら」のコンサートが六月二十七日、村コミュニティセンターで開かれた。「そら」は、四年前に結成され県内各地のまつりやライブハウスに出演し、若者に人気上昇中の宇和川直幸さん(ボーカル)と桃原淳也さん(キーボード)の男性二人組ユニット。

高校生や二十代の若者が多く訪れたコンサートは、ボーカル宇和川さんの優しく、素朴な歌声と二人の意気の合った軽妙なトークで盛り上がり、観客は清々しいステージを楽しんだ。



▲習いたての三味線を披露した「そら」のコンサート

天底小金管バンド部が四度目の優勝

北部地区吹奏楽コンクール

北部地域の吹奏楽、金管バンドの向上を図ることを目的に、第十三回北部地区吹奏楽コンクールが七月五日、名護市民会館大ホールで小、中、高二十一校が参加して開催された。

去年に続き富名腰杯を獲得した。

小学校の部には、八校が出場。七番目に登場した天底小学校(日高修校長は、安田さゆり教諭の指揮でマーチ「アルセナル」を演奏。さわやかな吹奏楽が観衆を魅了し金賞と最優秀を受賞。



▲2年連続で優勝した天底小金管バンド部

幻想的な花、サガリバナ咲く

仲宗根区の民家の庭先に、夕方から花が咲き、明け方には散るサガリバナ(サワフジ)が咲きました。

その名のとおりに枝から長い房状に、花火に似た白い花が垂れ下がり、甘い香りを一帯に漂わせていました。

サガリバナは、川沿いなどの湿潤なところを好み、西表島では群落もあり普通に見られるそうです。



7月11日午後9時30分撮影



今泊

シリーズ今帰仁の動物たち ⑮

ヒヨドリ

—ヒヨドリ科—

全国に9亜種生息し、村内で「ピューシ」と呼ばれ1年中見られる留鳥(リュウキュウヒヨドリ)。ヒヨドリも南のものほど色が黒くなります。

雑食性で、昆虫、木の実等を食べ、花のみつも大好きで波形を描いて飛びます。

庭先の低木にも巣をつくることがあり(巣材には枯れ草等を使いお椀形の巣)3~4羽のヒナを育てますが、最近では他の鳥と同様カラスの被害が多く、ヒナを見ることが少なくなっています。

沖縄県鳥獣保護員 (仲村渠智)